（敷金・保証金返還）

請 求 の 趣 旨【□前記記載のとおり】

1　被告　は、原告　　に対し、　　次の金額を支払え。

⑴　金＿＿＿＿＿＿＿＿円

□⑵　⑴の金額【□のうち金＿＿＿＿＿＿円】に対する〔□＿＿　＿＿年＿＿月＿＿日　□本訴状送達の日の翌日〕から支払済みまで年＿＿パーセントの割合による金員

2　訴訟費用は被告　の負担とする。

との判決【□及び仮執行宣言】を求める。

請 求 の 原 因（紛争の要点）

1　原告　　は、被告　　と＿＿　＿年＿＿月＿＿日締結した賃貸借契約に際し、〔□敷金　□保証金〕として、金＿＿＿＿＿＿＿＿円を被告　に交付し、次の物件の引渡しを受けた。

物件　　所在　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

　　名称　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2　原告　は、被告　に対し、本件賃貸借契約終了により、＿＿　＿＿年＿＿月＿＿日に、上記物件を明け渡した。【□原告　が〔□敷金　□保証金〕から控除されるのを争わない額は、（□未払賃料　＿＿＿＿＿＿円　□原状回復費用＿＿＿＿＿＿円　□　　円）、（□合計＿＿＿＿＿＿円）である。】

3（□敷金　□保証金）の返還期限は、（□〔□契約　□催告〕により＿＿　＿＿年＿＿月＿＿日　□本訴状送達による催告により、訴状送達日）となるが、これまでに返還を受けた金額は〔□ない　□＿＿　＿＿年＿＿月＿＿日に＿＿＿＿＿＿円である〕。

【□また、過払いの賃料（□管理費込、以下同じ）＿＿＿＿＿＿円が生じている。賃料は、月額＿＿＿＿＿＿円で、翌月分を当月＿＿日限りで支払っていたため、退去時の＿＿　＿＿年＿＿月分に過払いが生じたものである。】